

仮想空間を活用した新たな出会いの場創出事業企画運営業務委託に関する質問及び回答

| 番号 | 実施要領等<br>(項目番号)      | 質問内容                                                                                                                                                  | 回答                                                                                                                                                                                             |
|----|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 実施要領<br>7項(2)<br>(イ) | プレゼンテーション審査の際、メタバース空間を実際に投影することは可能か。                                                                                                                  | 可能です。ただし、投影に準備が必要な場合、説明前の準備時間（5分程度）で事業者にて行ってください。                                                                                                                                              |
| 2  | 仕様書5項<br>(1)(ア)      | 本企画における「出会い・婚活の範囲」として、対象となるユーザー（本サービス利用者）は両者とも愛媛県内の県民であることを定義されるか。つまり、他県や他国に在住の方も対象ユーザーとし、愛媛県に移住してもらう仕組みまでは考慮不要、ということでしょうか。                           | 対象は男性、女性ともに県内在住・在勤者に限定する必要はありません（市町と共催する場合は協議のうえ限定する可能性あり）。また本事業内で、本県に移住してもらう仕組みまでは考慮しなくて構いませんが、事業の目的や趣旨をご理解いただき、新しい出会いの手法としてメタバースならではの利点やメリットを活かしたイベント内容についてもご検討・ご提案ください。                     |
| 3  | 仕様書5項<br>(1)(イ)      | 前回(※)実施した際の広報施策は。                                                                                                                                     | 委託料の中で実施した広報施策は以下のとおりです。<br>・SNS広告（Instagram）<br>・松山市駅コンコースでの支柱広告、デジタルサイネージ<br>・県内主要駅や商業施設、公共施設、飲食店等でのポスター掲示、チラシ配布                                                                             |
| 4  | 仕様書5項<br>(2)         | 各イベントにおいてメタバース空間内に県関係者は何名程度入室予定か。                                                                                                                     | 県からは2名程度ですが、入室可能な人数と参加者数を考慮して適宜協議しながら実施したいと考えています。また、市町担当者等の入室（見学）希望がある可能性もありますので、適宜対応できる環境をご用意ください。                                                                                           |
| 5  | 仕様書5項<br>(2)(イ)      | イベント各回の参加者は重複者が出て問題ないか。                                                                                                                               | 問題ありません。                                                                                                                                                                                       |
| 6  | 仕様書5項<br>(2)(イ)①     | 「本事業契約後、県が共催を希望する市町を募り、2～3市町を選定」とあるが、参加者の対象は共催を希望する市町限定なのか。また、その際の予算はどのように見ておけばよいか。                                                                   | 参加対象については市町と協議の上決定します。メタバース空間におけるイベントにかかる費用はすべて県の予算とし、本事業の委託契約額に含みます。（委託上限額に含んでいます。）                                                                                                           |
| 7  | 仕様書5項<br>(2)(ウ)      | 参加者が使用するデバイスに指定もしくは想定はあるか。                                                                                                                            | デバイスに指定はありません。参加者がより気軽に参加できるよう利便性を考慮してください。                                                                                                                                                    |
| 8  | 仕様書5項<br>(2)(ウ)      | メタバース空間のクリエイティブについて、希望があるか（リアルなほうがいい、アニメイストで親しみやすいほうがいい、圧倒的なCG空間による没入感、使いやすいほうがいい、など）                                                                 | 特段の希望はありませんが、イベント内容やコンセプトに合わせたクリエイティブ（デザイン）とし、参加者の交流を妨げないものとしてください。                                                                                                                            |
| 9  | 仕様書5項<br>(2)(ウ)      | アバターを使って交流する際に、アバターの作成の主体が誰によって行われるか、下記A・Bは現時点で決定しているか。<br>A. ユーザー主体：ユーザー本人の操作によって髪型や服装等のパーツを選んで作り上げられる<br>B. システム主体：ユーザー本人の写真・動画等からシステム内で自動的に作り上げられる | アバターの作成主体の指定はありません。ユーザーが『利用してみたい、イベントに参加してみたい』と思えるよう魅力的な仕様や、より気軽に参加できるよう利便性を考慮した仕様としてください。                                                                                                     |
| 10 | 仕様書5項<br>(2)(ウ)      | 前回のメタバース空間についての技術的な課題や、機能面での課題があれば。（操作や閲覧がしにくかった、もっと●●な機能があればマッチング率が上がった、など）                                                                          | 空間について、技術的な課題や機能面での課題はありませんでしたが、事業者から参加者に対して、操作方法等の個別レクチャーを事前に実施したことで、よりスムーズな運営と高い満足度につながったと考えています。                                                                                            |
| 11 | 仕様書5項<br>(2)(エ)      | 参加者から参加費を徴収することとあるが、メタバースイベントのみの開催回の場合は無料での募集も問題ないか。                                                                                                  | 問題ありません。参加費の徴収については必須ではありません。                                                                                                                                                                  |
| 12 | 仕様書6項                | 目標KPIの「連絡先交換 参加者の50%」についての根拠や意図はございますでしょうか。                                                                                                           | 一般的なリアルの婚活イベントでのマッチング率が2割程度、また結婚や婚活と明言しないライトな出会いイベントでの連絡先交換率が9割程度であったことなどから、参加者の約半数が異性と連絡先を交換することを期待するものです。                                                                                    |
| 13 | 仕様書6項                | 前回のイベント実績について<br>（イベント開催別の参加人数、参加率、マッチング率、年齢分布など可能な限り）                                                                                                | 参加申込者にのみ公開                                                                                                                                                                                     |
| 14 | 仕様書6項                | 前回参加された方の感想について<br>（もっとも多かったもの、企画提案のヒントになるようなもの）                                                                                                      | 参加申込者にのみ公開                                                                                                                                                                                     |
| 15 | 仕様書6項                | 前回の課題                                                                                                                                                 | 参加者の満足度が高く、対面イベントにはない交流方法を評価する声が多かった一方で、メタバース自体の認知度が低く、交流方法などが伝わりづらかったことから、参加人数が目標に達しない回があるなど、広報・集客面において苦心しました。メタバースならではの交流方法を知ってもらう機会を設けるなど、メタバースの認知度向上や魅力の浸透を図り、新たな出会いの手法として定着を目指したいと考えています。 |
| 16 | 仕様書13項               | 協議・打ち合わせはオンラインで実施でも可能か。                                                                                                                               | 可能です。                                                                                                                                                                                          |

(※) 令和6年12月から7年3月にかけて仮想空間を活用した新たな出会いの場創出モデル事業として『メタ婚えひめ』を実施しました。

